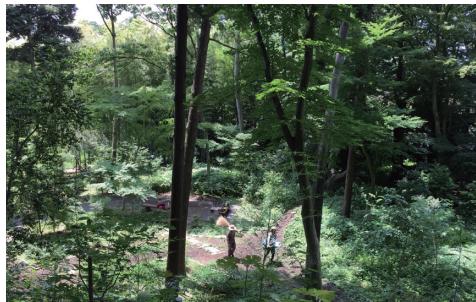


この動画を撮影した公園



瀬田四丁目旧小坂緑地（旧小坂家住宅）

所在地：世田谷区瀬田4-41-21

開園時間：午前9時30分～
午後4時30分まで

休園日：月曜日

（月曜日が祝日の場合は次の平日）、
年末年始（12月29日～1月3日）



岡本公園（岡本公園民家園）

所在地：世田谷区岡本2-19-1

開園時間：終日 休園日：なし



民家園 開園時間：午前9時30分～午後4時30分まで
(元日は午前10時～午後3時30分まで)

休園日：月曜日（月曜日が祝・休日の場合は次の平日）、
年末年始（12月28日～12月31日、1月2日～1月4日）

小さな生きものを観察しやすい公園



桜丘すみれば自然庭園

所在地：世田谷区桜丘4-23-12

開園時間：午前9時～午後5時まで
(10月から3月までは午後4時まで)

休園日：年末年始（12月29日～1月3日）



成城三丁目緑地

所在地：世田谷区成城3-16-38

開園時間：終日

休園日：なし



三宿の森緑地

所在地：世田谷区三宿2-27-27

開園時間：午前8時～午後5時まで
(10月から3月までは午後4時まで)

休園日：年末年始（12月29日～1月3日）

生きもののこと学習できる施設



桜丘すみれば自然庭園ネイチャーセンター

所在地：世田谷区桜丘4-23-12

開園時間：午前9時～午後5時まで
(10月から3月までは午後4時まで)

休園日：年末年始（12月29日～1月3日）

電話：03-3420-2755



二子玉川公園ビジターセンター

所在地：世田谷区玉川1-16-1

開館時間：午前8時30分～午後5時まで
休館日：年末年始（12月29日～1月3日）

電話：03-3700-2735



（財）世田谷トラストまちづくりビジターセンター

所在地：世田谷区成城4-29-1

開館時間：午前10時～午後5時まで
休館日：月曜日（祝祭日は開館し、翌火曜日が休館となります）

年末年始（12月29日～1月3日）

電話：03-3789-6111

休園・開館時間は変更になる場合がありますので、お問い合わせください。



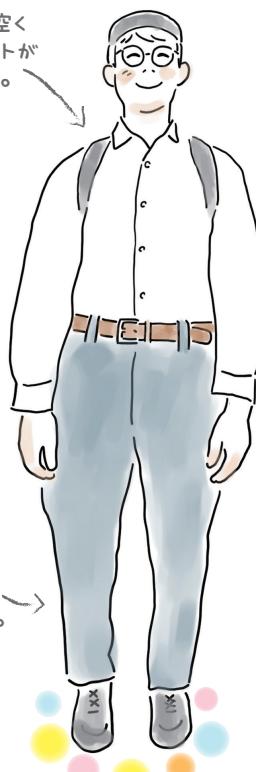
バッグは両手が空く
リュックやポシェットが
おすすめです。

持ち物

すいとう
ノート
ふでばこ（筆記用具）
スケッチブック
じょうざ
観察ケース
ビニールぶくろ
てぬぐい（タオル）
グローブ（軍手）
ずかん

どの季節でも
長そで・長ズボンで。

草での切りきずや
虫さされからはだを
守ってくれます。



観察おにいさん

野澤 拓実（のざわたくみ）

世田谷区役所みどり33推進担当部公園緑地課
砧公園管理事務所職員

ふだん着から 観察の服へ！

ぱうしは
日よけだけではなく
急な雨の時にも
役立ちます。

表面が
つるつるした素材
木のえだに
引っかかったり
植物の種がつくのを
ふせぎます。

観察おねえさん

工藤 美紀（くどうみき）

NPO法人せたがや水辺デザインネットワーク
せたがや水辺の楽校インタークリー



生きもののくらし

動画
ガイド

撮影地:世田谷区立瀬田四丁目旧小坂緑地/世田谷区立岡本公園
撮影日:2020年10月2日(金)・3日(土) 午前10時~午後3時



① オンブバッタ

草地でくらすバッタのなかま。いろいろな植物の葉っぱを食べる。からだが茶色っぽいものもいるよ。



② ハラビロカマキリ

地面の草よりも木や葉っぱの上が好き。木が多いところでくらしている。大きさが、5~6センチで羽の表面に白い丸いもようがあるよ。



⑦ セセリチョウのなかま

3~4センチの小さな茶色のチョウ。まち中でもよくみかけ、地面に近いところをすばやく飛び回る。よう虫はイネ科などの葉を食べる。



⑧ セスジスズメのよう虫

スズメガのなかま。ヤブガラシやサトイモの葉などを食べる。しっぽのようなツノは「ビカク」とよばれている。ドクはない。地面や土の中でサナギになる。



③ キタキチョウ

成虫はミツをすうためいろいろな花のまわりを飛んでいることが多い。よう虫はマメ科の植物の葉を食べる。



④ ナミアゲハ

身近なアゲハチョウのなかま。よう虫はミカンやサンショウ(かんきつ類)の葉を食べる。



⑨ ミミズのなかま

ミミズは、土を食べ、はいせつすることで、土じょうをよくする力を持つ。



⑤ クモのなかま

クモは、アミをはるクモ、土の中にすむクモ、えものを追いかけたりするクモなど、日本に1600種ほどいる。種類を見分けることはとてもむずかしい。



⑥ ヤマトシジミ

2~3センチの小さなシジミチョウのなかま。まち中でよく見かける。よう虫はカタバミの葉を食べる。

観察が終わったら捕まえた場所で逃がしてあげましょう。
小さな生きものたちは、くらしている環境と深くつながって生きのびてきました。つかまえた場所以外で逃がしても生きられないことがあります。また、遺伝子が混ざり合ったりすることも避けたいことです。

小さな生きもののくらしを知ることで、私たちのくらしているまちにどんな環境があるかを知ることができます。小さな生きものたちのくらしは、わたしたちのくらしとも、つながっているのです。

公園でみつけた植物



ミズヒキ



ヤブミョウガの実



ヤブランの実